

令和6年5月1日



園長 中川宏美

みらいだより

入園、進級して1か月が過ぎ、子どもたちは新しい生活に慣れてきました。

新緑が美しい5月、外に出て土や草の感触を十分に楽しみながら、全身を使った遊びを積極的に取り入れていきたいと思えます。

いっぽう、新しい環境で気づかないうちにたまった疲れが出てくるころでもあります。健康には十分に留意していただくようお願いします。子どもたちの体調・ストレスなどご心配なことがありましたらいつでもご相談ください。

5月行事予定			
月	日	曜	行事予定
5	2	木	子どもの日の集い
	10	金	親子遠足(ひかり)
	11	土	お弁当の日
	14	火	内科健診
	15	水	身体測定(どんぐり・ひかり)
	16	木	身体測定(たけのこ・そら)
	17	土	身体測定(りす・うさぎ)
	25	土	・お弁当の日 ・保護者交流会(うさぎ)

(未定行事)サツマイモの苗植え
・6/19 歯科検診

※変更の場合あり

リスク会議

各クラスのけが・事故・病気・感染症の集計と所見から改善対策とヒヤリハットの報告書を分析し、改善対策を行うための会議を毎月実施しています。

- ◆入園・進級で情緒が不安定な子どもがいた。→子どもの思いに寄り添い、安心して過ごせるよう配慮する。
- ◆季節の変わり目で体調不良(発熱・嘔吐)の子どもが数名いた。→こまめに検温を行い、子どもの体調変化に気付くようにする。
- ◆園庭で、キーホルダーの破片・ビービー弾を拾って持ってきた。→園庭整備を行い危険な物が落ちていないか点検する。

園でめざす子どもの姿「子どもの主体性を尊重し、自分で考える子どもを育む」

みらいこども園で大切にしていることを、職員会議で再確認しました。

- 子どもは「小さくても一人の人として尊敬される存在」「自分の思い・意志を持った存在」ととらえ、乳児期から、必ず子どもに伝えてから抱き上げる、鼻水を拭きます。
- 子どもが自分で決める・考えるを尊重し、着替えの場面で好きな服を選んで着たり、自分でお気に入りの遊びを選択できるように援助をしていきます。
- 「泣く」「すねる」などの表現にも、「悲しいね」「どうしたかった」と受け止め、子どもの思いを共感し、言語化を積み重ねて子どもの思いに寄り添い、ありのままの姿を受け止めます。
- 「・・・しなさい」指示命令の言葉や「・・・してはいけません」否定・禁止の言葉を使わないようにします。肯定的な言葉がけを大切にします。
- 子ども一人ひとりの力を信じて待つ、見守ることを基本とします。できないではなく課程が大切だと考えています。
- 子どもの遊びや発見・興味関心を共に楽しみ、共有・共感し集中して遊び込める環境を保障します。

子どもは、遊びからたくさんのかを学んでいます。「何を感じ」「気付き」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。

どんぐり組(0歳児)：「おたがいに・・・」

友だちが持っているおもちゃが気になります。「あ、あ、あ～」と指さして伝えたり「ん、ん～」と自分が持っているおもちゃを渡します。一緒にいる友だちの存在が気になり始め、関わりを持とうとしています。



たけのこ組(1歳児)：「挑戦！！」

でこぼこで不安定な道の上を「しょ・・・しょ・・・」道の上から箱が落ちます。箱と道をじっとみて再挑戦します。大きな箱を押して歩いたり、高低差を楽しみながら歩くことで歩行が安定していきます。いろいろな動きを自分で考え試すことで、思考力が育っていきます。

りす組(2歳児)：「み～つけた！」

「むしいるかな」プランターやホース台の下を夢中で探します。「だんごむしがいた」「うごいた」だんご虫の歩く様子や動きに興味津々です。身近な生き物を見つけ親しみを持って関わることで生態を知っていきます。



うさぎ組(3歳児)：「さらさらだね～」

「ふわふわ」「さらさら」と水を含んだ時とそうでないときの小麦粉の感触の違いを楽しんでいました。「ピンクとオレンジが混ざったら何色になるんだろう？」と疑問を持ったり、食べ物に見立てて「いらっしゃいませ！」とお店屋さんが始まったりしていました。

そら組(4歳児)：「あった！」

「これは何かな?」「これあるよ」と絵本にのっていたマーク探しが始まりました。非常口と通路誘導灯、火災報知器を見つけ「にげますのマーク」、「火事になったらなるんよ」遊びの中で、身近なマークや標識などに興味をもち、標識の役割に気付いています。



ひかり組(5歳児)：「押し花プロジェクト」

押し花作りに挑戦「もう押し花になった?」「まだできん?」と完成を楽しみにしていました。「どのページだっけ?」「あ!綺麗にできとる!」と完成した押し花を見つけると喜びを共有しています。押し花を活かした葉作りにも取り組んでいます。